

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		戦前の帝国議会と公害・環境問題の歴史的形成・展開に関する基礎的研究			
研究テーマ (欧文) AZ		The basic research for historical formation and evolution of pollution and environmental problems which were debated in Japanese Diet			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓)オダ	名)ヤスノリ	研究期間 B	2005 ~ 2006 年
	漢字 CB	小田	康徳	報告年度 YR	2007 年
	ローマ字 CZ	Oda	Yasunori	研究機関名	大阪電気通信大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		大阪電気通信大学工学部人間科学研究センター 教授			
<p>概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)</p> <p>本研究は、公害と環境問題に関する日本の経験を戦前期に遡り解明するため、その記録上の手がかりとして明治23年から終戦直後まで開設されていた帝国議会に注目し、そこでの質問演説・答弁・質問書・請願書・建議書、あるいは会議中における議員の不規則発言にまで目を通してもらさずチェックし、それらを文字情報としてデータ化し、研究の基礎資料とするとともに、あわせてそれらの問題の歴史的形成過程の実際を究明しようとするものである。</p> <p>本研究の開始期において帝国議会議事速記録(衆議院)はほぼ目を通していたものであるが、本財団の助成によるデータ化作業は実際に行ってみた結果、予想以上に難航し、結局明治期一杯までに止まった。しかし、それでも、最終的に367件、129万字すなわち400字詰め原稿用紙で3,225枚分の大量に上ることになった。これは予想をはるかに超える成果であった。また、この作業を通して気がついたことも多かった。なかでも、事業所等がひき起こす公害問題とは別に、河川の改修、森林の伐採、漁業資源の追求、神社合祀、都市的開発などに伴う環境破壊問題が明治の時期から相当幅広く形成されてきていること、よく言われるように、1970年代に公害問題を克服していったら、つづいて環境問題が形成されたというのではなく、その両者はともに明治期から存在し、その歴史を積み重ねていたものであることが見えてきた。これは、公害問題と環境問題の関係を位置づける上できわめて重要な問題提起になるものと思われる。現在は、そのような視点に立って改めて衆議院議事速記録を見直してみる作業に着手している。</p> <p>また、明治36年(1903)までは本会議で委員会同様の詳細な審議が行われたため、関係者から提出された被害実態にかかわる資料も多数示されているのであって、単なる討論のみではない、重要な事実を知ることでもできることも分かった。公害・環境問題の議事調査を通して議会のありようも見えてきたというわけである。</p>					
キーワード FA	公害	環境	帝国議会	歴史	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	帝国議会と公害・環境問題—議事—一覧の作成とその紹介							
	著者名 <sup>GA</sup>	小田康徳・田中はるみ・向井直子他	雑誌名 <sup>GC</sup>	大阪電気通信大学人間科学研究					
	ページ <sup>GF</sup>	47~88	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	0	6	巻号 <sup>GD</sup>	8号
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	~	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	~	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

欧文概要<sup>EZ</sup>

For the purpose of the research on a historical formation of pollution and environment problems in Japan from the Meiji era(1868-1912) to just after World War II, we must notice the existence of stenographic proceedings of the Japanese Imperial Diet.

I checked all proceedings - questions, answers, questionnaire, petitions, proposals and the members' speeches in the conference and I found many fundamental documents of this study. I think it is necessary to enter them into a computer.

By the subsidy of Sumitomo fund I have entered 367 titles about the Meiji era into a computer. They are composed of 1,290,000 letters. This is a success beyond my expectation. I have found many historical important points to solve. Especially I pointed out many environmental destruction problems are happened during the Meiji era. These problems have been caused by the reconstruction of rivers, cutting of woods, search of fishing resource, shrine absorption and city development and etc.

Most people think that environment problems happened after we have conquered pollution problems in the 1970' s. But I point out that both pollution and environment problems happened during the Meiji era. This suggests a big problem to know the relationship between pollution problems and environment problems.

I also point out that until the 36th year of Meiji (1903) the representative showed many data of actual conditions when they deliberated at the plenary session. They not only discussed but also showed many data of deliberation. By this research, we can know the way how the representative discussed at the Diet.